

2021年(令和3年)9月17日(金曜日)

「防災サポーター」
市が導入検討を表明

市防災危機管理局は十六日、地域で防災の啓発活動や災害時の安否確認などを担うことが期待される「防災サポーター」について、導入を検討すると表明した。三輪芳裕議員(公明)の質問に答えた。

三輪議員は、防災に意欲や関心が高い市民を掘り起こし、地域の防災活動に協力してもらうことを提案。渡辺正則局長は「継続的な防災啓発に有用で、地域防災の担い手の裾野を広げる一助になる」との認識を示した。

市は二〇二二年度、市民に災害への当事者意識を持つてもらい、意識改革や行動の見直しを促すために「防災人材育成方針」を策定中で、防災サポーターの育成も盛り込む。実際の導入時期は、地域住民の意見を聞きながら決める。